

心臓モダリティを駆使 救急科・心臓外科と 連携した治療を提供

副院長兼循環器内科・
集中治療科部長
立花 栄三

当院の循環器内科は、虚血性心疾患、心不全、不整脈を中心に、高血圧などの循環器疾患の検査や治療を幅広く手がけてきました。カテーテルで冠動脈の閉塞や狭窄を治療する「インターベンション」では、緊急の症例においてほぼ冠動脈の血流の再開を達成しています。閉塞性動脈硬化疾患が増えている下肢(足)のインターベンションも積極的に行っています。さらに、不整脈の治療法として、カテーテルを用いて心臓の原因部位を電流で焼き切る「アブレーション」も実施しています。2017年には、患者さんの負担が軽く、高精度の画像撮影が可能な「デュアルソースCT」も導入しました。

そして、循環器内科が急性心疾患などを扱うICU(集中治療室)を24時間体制で一括管理しているのも、当院の特徴といえるでしょう。

たちばな・えいぞう
1993年3月、日本大学医学部卒業。
2017年4月より現職。日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医ほか。



開頭と血管内手術体制 先端機器を活用し 迅速な血行再建術にも対応

脳神経外科部長
古市 真

当院の脳神経外科は、直達手術だけでなく、血管内治療も手掛けているのが大きな特徴でしょう。脳動脈瘤に対する治療として開頭クリッピング術とカテーテルを用いたコイル塞栓術があり、どちらも可能です。患者さんと相談のうえ最も適した治療方法を選択できます。カテーテルで血栓を回収・除去する治療は、患者さんの予後を改善できます。そのほか化学療法や放射線療法を併用した悪性脳腫瘍の治療、頸動脈のステント留置術にも対応しています。

また、今年から先端の血管撮影装置を導入しました。術中の画像の精度が高く、データ解析処理も速いので、治療を迅速、かつ的確に行えます。放射線被ばくが少なく、患者さんの身体にやさしいという利点もあります。今後は脳卒中に迅速に対応するチーム力をさらに高めたいと思っています。

ふるいち・まこと
1989年3月、香川医科大学医学部卒業。
2007年4月より現職。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医、日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医ほか。



チーム拡大で症例対応 循環器内科と連携し外来から リハビリまで幅広くカバー

心臓外科部長
大場 正直

当院の心臓外科は2017年に開設しました。日本大学医学部と連携し、大学病院で行うような難しい心臓病の手術も行える体制が整い、患者さんの利便性を高めることができました。

当科では、成人の虚血性心疾患、弁膜症、大動脈瘤など、心大血管疾患の治療をメインに手がけています。これらの医療ニーズは、埼玉県南部地域においても高いためです。

冠動脈のバイパス手術では、人工心肺を用いる術式だけでなく、オフポンプ冠動脈バイパス術も行っています。人工心肺を用いず、患者さんの体への負担が少ないのがメリットです。この術式を積極的に拡大しながら、症例に合った使い分けによって、スピーディーで患者さんに寄り添う治療を、これからも進めていきます。

おおば・まさなお
2001年3月、高知医科大学大学院修了。
2017年4月より現職。3学会構成心臓血管外科専門医認定機関認定心臓血管外科専門医、日本外科学会認定外科専門医。



不整脈に対するカテーテルアブレーション



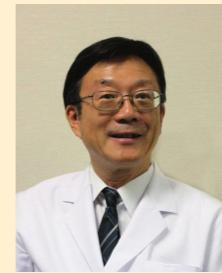
血管内治療で脳疾患に対応



体への負担が少ない心臓手術

病院事業管理者
大塚 正彦

おおか・まさひこ
1982年、東京慈恵会医科大学医学部卒業。
2016年6月より現職。日本外科学会認定外科専門医、日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医ほか。



川口市立医療センターは、1994年の開院以来、24時間体制の救命急救部門を併設し、高度な救命急救を行ってきたほか、周産期医療にも力を入れてきました。また、「地域がん診療連携拠点病院」の指定も受け超急性期の医療、がんなど難病の医療に重点的に取り組んでいます。とりわけ、脳卒中や心筋梗塞など一刻一秒を争う

地域の医療連携を進めるため「地域医療支援病院」にもなっています。今年4月からは、地域医療連携を進めることになりました。埼玉県南部は、人口増加傾向が続き、医療ニーズも増大しています。若い人の割合が高いのですが、高齢者も増えているため、脳卒中や心臓病も多発しています。そのため、当院でも卒中や心臓病に特化した医

療体制を強化しています。その一環として、2017年に「心臓外科」を新設しました。一方で、総合病院としての強みを生かし、内科・外科の「合同カンファレンス」を行うなど診療科の枠を超えたチーム医療を進めています。これからも、患者さんに的確な急性期医療を、スピーディーに提供していくことを考えています。

埼玉県南部でも、高齢の患者さんが増えていますが、高齢の患者さんは、脳や心臓などにさまざまな疾患を併発しているケースが少なくありません。そこで、院内では診療科の枠を超えたチーム医療を行っており、病院や診療所との連携が重要となります。当院は、高度・専門医療を手がける総合病院、地域医療支援病院として、そうした患者さんの幅広い医療ニーズに応える急性期医療機関です。例えば、脳神経外科では、「心原性脳塞栓症」の治療を行う場合に、不整脈が原因であれば循環器内科と連携して治療を行っています。

先進のカテーテル治療、外科手術を駆使 心疾患、脳疾患に迅速な医療を提供



川口市立医療センター

〒333-0833 埼玉県川口市西新井宿180
TEL.048-287-2525 (代表)
FAX.048-280-1566
<http://kawaguchi-mmcc.org/>

病床数: 539床
外来診療日 月～土
休診日: 第2・第4土、日、祝、12/29～1/3

施設認定
・三次救急指定病院(救命救急センター)
・地域周産期母子医療センター
・地域がん診療連携拠点病院
・災害拠点病院(基幹災害医療センター)
・地域医療支援病院

脳神経外科

2017年8月～18年7月 診療実績

脳梗塞	117
非外傷性頭蓋内血腫	84
非外傷性硬膜下血腫	49
頭蓋・頭蓋内損傷	45
未破裂脳動脈瘤	33
脳血管障害	32
脳腫瘍	22
くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	22
てんかん	20
水頭症	12
その他の脳疾患(合併症含む)	15

循環器内科・心臓外科

2017年8月～18年7月 診療実績

心不全	196
狭心症、慢性虚血性心疾患	124
心筋梗塞	55
頻脈性不整脈	49
徐脈性不整脈	40
閉塞性動脈疾患	22
弁膜症	19
その他の心臓疾患(合併症含む)	137

2015年3月～18年3月 救急車受入実績

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
循環器内科	295	261	333

埼玉県立医療センター

院長
國本 聰

ぐにもと・さとし
1995年3月、日本大学大学院医学研究科内科系博士課程修了。2017年4月より現職。日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医ほか。

